

2017年8月2日

件名：エレファントキャンプの動物保護イニシアチブへの参加のお誘い

PATA 会員各位、

アジアでは何世紀にも渡り、人々は象と生活、労働を共にしてきました。多くの生活集団（コミュニティ）の中で、とりわけ南、東南アジアでは未だに象に関連したアクティビティにより収入を得ています。全てではないものの、いくつかはこの収益を象の保護に充てています。

PATA ではそのようなアクティビティが、社会の慣習に反していない責任のある形で行われている限り受容可能だと考えています。言い換えれば、象に対する取り組みはその保護とバランスの取れたものでなければなりません。このような象たちが常時、人道的に扱われることは、実に極めて重要なのです。

アジアでは、象は未だに労働に従事する動物であるとの認識がある事、象を所有するという事は長期に渡っての投資である事を踏まえながら、象の保護については生活集団と利害関係者グループの間に溝が深まっている事実を認識しなければなりません。エレファントキャンプの動物保護と持続可能性実現の為の基準、評価イニシアチブは、PATA と PATA 持続可能性と社会的責任コミティの分化委員会である、PATA 持続可能なツアーオペレーターワーキンググループの協力の下、トラベライフ (Travelife) により、ツアーオペレーター用に創設されました。

その地域でのそのようなサービスを提供しているツアーオペレーターとして、我々はこのイニシアチブへの参加をお誘いします。これは、エレファントキャンプが必要基準を達成し、保持する事を助けるだけでなく、ツアーオペレーターが旅行客からの厳格な要望に応え得るキャンプを選択する際にも助けとなるでしょう。

参加するにあたっての詳細は[ここをクリック](#)、若しくは PATA 持続可能性と社会的責任スペシャリストの Chi Lo ([chi@PATA.org](mailto:chi@PATA.org))、トラベライフ (Travelife) のツアーオペレーターゼネラルマネージャーの Naut Kusters ([n.kusters@travelife.info](mailto:n.kusters@travelife.info)) までご連絡ください。

敬具

チーフエグゼクティブオフィサー Dr. Mario Hardy  
Pacific Asia Travel Association (PATA)

## エレファントキャンプの動物保護と持続可能性実現の為の基準、評価イニシアチブ

2017年7月27日

PATAは、アジアに於いて象は全くもって労働に従事する動物である事、象を所有する事は投資である事を認識しています。象の保護については、利害関係者との間に溝が深まっている事実を認識し、エレファントキャンプの動物保護と持続可能性実現のための基準、評価イニシアチブが創設されました。

知見のある旅行者や動物の権利を守る団体双方から寄せられる問題意識の増加もあり、このイニシアチブの目的は、エレファントキャンプでのアクティビティや体験が責任ある方法にて行われる事を確保するものです。

### 課題

- 旅行産業の利害関係者（西洋の旅行者、オペレーター）の動物保護に関する問題意識の高まり。
- アジアのエレファントキャンプでの基準やそれに伴う評価システムの不足。
- ツアーオペレーターの中には、自己基準診断による評価をしているものもあり、キャンプでの、能率の悪い資源活用、受容可能な責任ある管理経営（マネージメント）を行う上での混乱のもとになっている。

現時点までアジアのエレファントキャンプの為の、広く受け入れられている評価基準システムは存在していませんでした。

### 解決法

上記の問題点を踏まえて、トラベライフ（Travelife）の下で PATA 持続可能なツアーオペレーターワーキンググループは、ABTA 動物保護ガイドランスを基に基準の最初の草稿を仕上げました。この基準について、利害関係者や専門家が意見を述べる機会がありました。プーケットとタイ北部のエレファントキャンプでの試験運用を経て、この草案は何度か書き換えられています。基準の最終草案は 2017 年 2 月に批准されました。基準は 7 主題、24 副題（表参照）に渡って全 166 項目からなっています。該当項目用に、特定の実施、監査ガイドランスやツールが、現在準備されています。監査官の育成もこの夏行われる予定です。

エレファントキャンプの動物保護と持続可能性実現の為の基準、評価イニシアチブは、動物保護に対する旅行産業の利害関係者からの高まる問題意識への一つの答えです。

#### 当該関係者：

エレファントキャンプの動物保護と持続可能性実現の為の基準は、PATA 持続可能性と社会的責任コミティーの分化委員会である、PATA 持続可能なツアーオペレーターワーキンググループ (TOWG) の為のトラベライフ (Travelife) のイニシアチブです。TOWG のねらいは、共同でサプライヤー (宿泊、運輸、周遊旅行 (エクスカーション) やアトラクション) を評価するための一般的な基準やツールを作成する事です。

現在、ワーキンググループの主要メンバーは次の通りです。EXO Travel、 Khiri Travel、 Buffalo Tours、 Go Vacation、 Destination Services、 Diethelm Travel、 Destination Asia。このイニシアチブは、PATA、世界動物保護機関(WAP)、ABTA、そして科学的コンセンサスの基礎の為に捕獲された象の保護基準の向上の為に活動している、象保護専門家や獣医の非公式ネットワークである、アジア捕獲象ワーキンググループ (ACEWG)に是認されています。

#### 積極的な関与：

この基準と評価システムの主要な目的は、インバウンド、アウトバウンドのツアーオペレーターをキャンプのより良い選定と、動物保護と持続可能性実現の為の基準の改善に向けて、キャンプが動機づけられるように支援する事です。このイニシアチブはアジアの他のインバウンド、アウトバウンドツアーオペレーターや、PATA の会員費が支払われている、その源泉マーケットにも公開されています。

参加ツアーオペレーター (TO) 特典：

- キャンプの活動年次報告の受領
- キャンプへ現場監査の提案の機会
- ポートフォリオ未掲載のキャンプ情報の受領
- インバウンド、アウトバウンド間の情報共有、アクセス
- クライアントの期待に応えるコンプライアンスを満たした選択肢の案内が可能

#### 問題解決への参画：

参加の詳細は、PATA 持続可能性と社会的責任スペシャリストの Chi Lo ([chi@PATA.org](mailto:chi@PATA.org))、トラベライフ (Travelife) のツアーオペレーターゼネラルマネージャーの Naut Kusters ([n.kusters@travelife.info](mailto:n.kusters@travelife.info)) までご連絡ください。

エレファントキャンプの動物保護と持続可能性実現の為の基準

主題	副題
1. マネージメントと法的必要条件 (12)	マネージメント 健康と安全 象の識別
2. スタッフ管理 (24)	労使関係と人権 象使い
3. 象の保護 (60)	象の生存環境 象の特質 医療 繁殖 発情期の象
4. 象との相互作用 (35)	容認できないアクティビティ 象乗り 水浴び 放し飼い 象とのウォーキング 象の餌やり 放し飼い象の観察
5. キャンプ全般 (9)	キャンプ設置とインフラ 環境マネージメント その他の動物
6. 訪問者の安全と体験 (17)	健康と安全 解説と体験
7. コミュニティーとの関係性と生物多様性	地元コミュニティー 生物多様性の保存

注: PATA はこの問題についての教育を支援、支持、提供する事を目指しています。しかし、エレファントキャンプやツアーオペレーターがどのような行動をとるべきか、順守させる責任を負うものではありません。